

## 資料2

### 市バスの前乗り後降り方式の検討に至った経過と目的

現在の「後乗り前降り」方式では、お客様は車両中ほどの扉を乗車口とし、車両前方から運賃をお支払いのうえ降車いただいているが、車内前方は前タイヤがあるため床スペースが狭いこともあります。多くのお客様に御利用いただいた際には、車両前方にお客様が滞留するなど、車内混雑が発生しがちな状況となっています。

こうした車内の状況を緩和するため、近年、均一運賃区間が拡大したことでも踏まえ、前扉を乗車口とし、先に運賃をお支払いいただき、車両中ほどの広い扉からスムーズに降車していただく「前乗り後降り」方式への変更に向けた検討に着手することとしており、本年秋頃の実施を予定している「前乗り後降り」方式の実証実験内容や、実証実験の結果を踏まえた本格実施に向けた今後の方向性について御意見をいただきます。

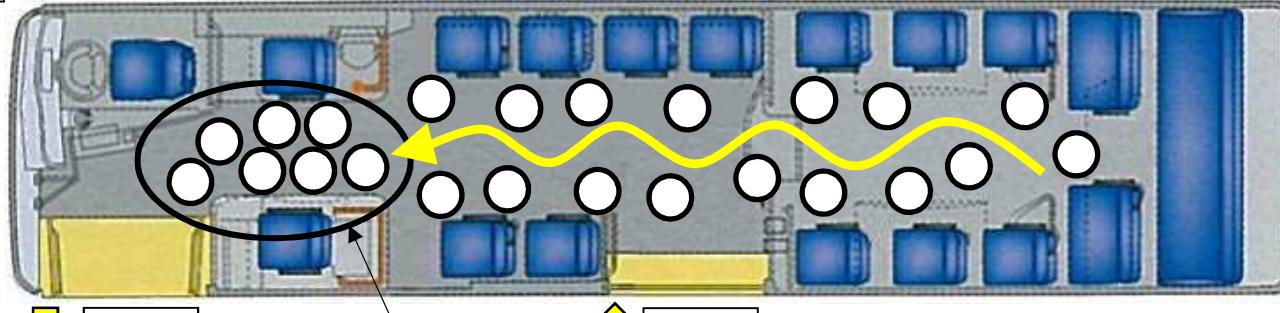
(別紙) 市バス車内のお客様の動線

## 市バス車内のお客様の動線

### 後乗り前降り

前

後

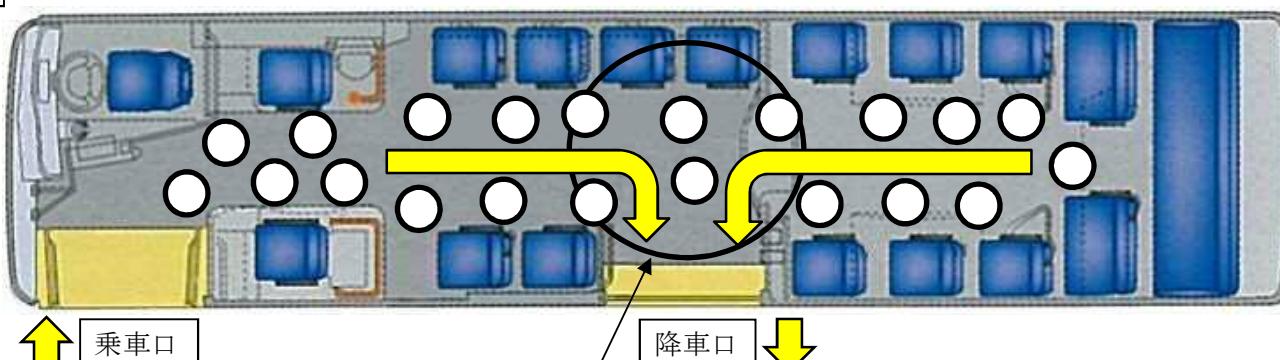


降車口のある車内前方にお客様が集中しやすく、降車客は前方に向かって進むため混雑が発生しやすい。

### 前乗り後降り

前

後



降車口が車内中央部にあるため、車内前方からも後方からもお客様の動線が確保できスムーズな降車が見込める。